

本日入学を許可しました160名の皆さん、さいたま市立大宮国際中等教育学校への御入学おめでとうございます。教職員を代表して、皆さんを心から歓迎いたします。

本校は埼玉県内初の中等教育学校として昨年4月に開校しました。また、国際的に評価の高い国際バカロレアの導入に向けて取組みを進めています。さらに、さいたま市の教育方針である3つのG、Grit、Growth、Globalを校訓として、これまでにない様々な方法で探究的な学びを深めていきます。皆さんはここで「世界の未来のつくり方」を学ぶのです。

その中で皆さんには、「真の学力」「未来の学力」を身につけていってもらいます。それは、自分自身がより良く生きるための学力であり、より良い未来を築くことに貢献できる学力です。ここで学ぶことによって皆さんが進んで行く道は、未来に向かう道です。その未来は、もちろん皆さん自身の未来でもありますが、それは即ちさいたま市の未来であり、日本の未来であり、世界の未来なのです。

自分の未来でさえ予測するのは難しいのに、世界の未来を切り拓くなんて、無理なんじゃないか。皆さんはそう思うかも知れません。確かに、明日のことは予測できても、50年後の未来は予測できません。でも、予測できないからと言って、何も考えずに過ごしていると、自分では望まない未来に進んで行ってしまうかも知れません。それは、自分自身にとっても、自分たちの住むさいたま市にとっても、日本や世界にとっても、望ましくない未来かも知れません。では、より良い未来になるための答えはどこにあるのか。正しい答えは「まだ」「どこにも」ありません。その答えを探して、見つけるのは皆さんです。もし見つからなければ、皆さんがその答えを作らなければなりません。よりよい未来、よりよい世界は皆さんが作るのです。

そんな大それたこと、自分にはできるわけない。そんな大変なこと、誰か他の人にやって欲しい。そう思うかも知れません。でも、そう思う先に待ち受けているのが、望ましくない未来なのです。自分の、自分たちの、自分の愛する人たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。そして、そのためには自分に何ができるのか、何をすべきなのか。今日からの6年間で一緒に考えて、励まし合って、見つけていきましょう。そのためにまず、志を高く持ちましょう。そして、その志を実現するために必要な力を、ここ大宮国際中等教育学校で身につけていきましょう。それが「ここで学ぶ、世界の未来のつくり方」ということです。

しかし、残念ながら現在、世界中で新型コロナウイルス感染拡大が日を迫うごとに深刻さを増しており、感染者の増加だけでなく、経済活動の減退、学校臨時休校の長期化など、その影響は多方面に及んでいます。このような事態の中、今夜、政府は緊急事態宣言を出すこととしており、そうなれば本校も明日から5月6日までの約1ヵ月間、臨時休校となる見込みです。入学したばかりではありますが、皆さんと再会できるのは、早くてもゴールデンウィーク明けの5月7日木曜日になるでしょう。

そこで皆さんに三つお願いがあります。一つ目、新型コロナウイルスに感染しないよう自分にできることを最大限に行うこと。二つ目、臨時休校中も学校に行くのと同じ生活リズムを保つこと。三つ目、毎日2回、朝と夕方に本校のホームページを確認すること。

しばらくは大変な状況が続くと思いますが、くじけず、いやにならず、あきらめないで、がんばって乗り切っていきましょう。この困難を乗り切った先には、今までよりも成長した皆さんの姿がきっとあるはずです。

以上をもちまして、さいたま市立大宮国際中等教育学校第2回入学式の式辞といたします。

2020年4月7日

さいたま市立大宮国際中等教育学校長 関田 晃